

■海外オークションを終えて

⇒ 今回の海外大規模コインオークションで身にしみて感じたことがいくつかあります

- ① 「ドル建て金価格・銀価格」にまったく左右されない
- ② 「世界最高鑑定」品の値上がりは半端ではない
- ③ アメリカ金貨・銀貨は「バブル」だと思われませんが、一方でフランスは未だ極めて割安
- ④ オランダやスイスなど、「人気のあるシリーズ」も値を大きく飛ばしている
- ⑤ 「一歩も引かない」コレクターが世の中にはいっぱいいる
- ⑥ チェコスロバキアなど、まだまだ「知られていない世界」がいっぱいある

⇒ ①ですが、最近の金価格動向からもう少し落ち着いた価格での落札になるかと思いましたが大きく裏切られました

⇒ ②ですが、例えば「1911年ソブリン金貨グレード67カメオ世界最高鑑定」の場合、**6年で約4.5倍**となっています。これは、毎年約30%上昇していることを意味します

⇒ ③ですが、同等の年代・グレード・大きさで比べた場合、価格差は

アメリカ	イギリス	フランス
200	10	1

というのが今の私の率直な感覚です

ただ、こここのところフランスの割安さに気がついたコレクターが増えているように感じます

イギリスは1980年以降、新しい大型金貨をかなり多く発行していますが、フランスはほとんど見かけません

需要増に対して供給が増えないわけですから、ヘラクレス50フラン金貨や種をまく女神5フラン金貨・プラチナ貨などが値上がりし始めました

一方で1600年代・1700年代のルイドール金貨高鑑定は、アメリカやイギリスに比べてもまだかなり割安ではないでしょうか

⇒ ④ですが、軽く200万円を超える銀貨が増えてきました

以前からお伝えしていますように、

70~80万円 ⇒ 200万円

150~200万円 ⇒ 400万円台

となるパターンが続出しております

⇒ ⑤ですが、私も簡単に引かない方なのですが、今回は負けを認めざるを得ない回数が多すぎました(無念)

⇒ ⑥ですが、今回のオークションでチェコスロバキアの大型金貨の存在を初めて知りました

この金貨の世界最高鑑定(グレード67+)は今回まだ1000万円弱でしたが、将来「ウナとライオン」のように1億円を超えるんだらうなあと感じた次第です(直感)

のどから手が出るほど欲しいモノがまた増えてしまいました

⇒ これからは、出遅れているフランスだけではなく、ヨーロッパの他の国々のコインがきっと大きく脚光を浴びることになるのでしょう

⇒ それにしてもアメリカの場合、225年前後で

0.5ドル銀貨 ⇒ 870,000ドル

2.5ドル金貨 ⇒ 1,380,000ドル

になるというのはすごいことですね

⇒ 世界最高鑑定や世界第2位鑑定を保有していると、もちろん必ずしもではありませんが、年率20~30%の価格上昇が続いており、今後も期待できるのではないかと思います

⇒ ぜひ、デジタルの数字だけではなく、ペーパーマネーだけではなく、実物資産に分散するという一環で、金貨や銀貨への投資もお考えいただければと思います

⇒ みなさまの「参戦」をお待ちしております！